

DISCOVER

MURA no TAKARA

ディスカバー 農山漁村の宝

6th

選定事例集
MAFF



農林水産業を熱くする
amazing な取組を見よ!

「ディスカバー農山漁村の宝」 グランプリ及び部門賞について

平成 26 年（第 1 回選定）からスタートした「ディスカバー農山漁村の宝」は、令和元年選定（第 6 回選定）として、7 月 1 日から約 2 ヶ月間公募し、合計 931 件の応募の中から団体部門（コミュニティ部門及びビジネス部門）として 31 地区と、今回より新設された個人部門として 5 名を選定しました。

また、選定された 31 地区と 5 名の中からさらにグランプリ及び部門賞（準グランプリ「コミュニティ部門」2 地区、準グランプリ「ビジネス部門」2 地区、個人賞 1 名）を決定しました。

🌾 グランプリ 🌾

株式会社 魚の屋

島根県
大田市

国内市場が 1% しかない天然わかめの刈りとりを漁師に依頼し、それをもとに新商品開発と販売を実施。天然わかめの商品売上は約 3,200 万円から約 3.5 億円に増加（H26～30）。天然わかめを刈りとる漁師へ漁期中（3～5 月末）は平均 43 万円 / 月の所得をもたらす。天然わかめの加工処理で、13 か所（75 名）の障がい者就労施設に作業を発注。離島（隠岐の島）に 8 つの加工場があり地域振興にも貢献。

🌿 準グランプリ コミュニティ部門 🌿

関係者の連携による
活動で地域に活力を
もたらず取組等

北海道立 遠別農業高等学校

北海道
遠別町

高校生が、国産自給率の低いサフォーク種の羊の飼育・加工・販売までを一貫して実施。加工品は、ふるさと納税返礼品として取り扱われるほか、ショッピングサイトでも販売。

山形県 上市市温泉クアオルト協議会

山形県
上市市

自然休養林等を活用した気候性地形療法「クアオルト健康ウォーキング」を専用ガイドを付けて年間 360 日間実施。年間約 1.4 万人のクアオルトウォーキング参加者のうち、毎日ウォーキング参加者は約 5,200 人（H30）。

🌿 準グランプリ ビジネス部門 🌿

事業化を通じて
所得向上や雇用を
生み出す取組等

株式会社 山上木工

北海道
津別町

機械力と職人技の融合により、高品質な木工品を安定的かつ効率的に生産し、国内外で販売。全国 60 店舗で販売するほか、仏などへも輸出。家具等木工品の売上は約 2 億円（H30）。

杉本製茶 株式会社

静岡県
島田市

茶生産農家の所得向上及び後継者確保のため、国内の中小製茶企業に先駆け、輸出事業に着手。現在は 22 ヶ国へ輸出を行い、輸出売上高は 8,000 万円から約 5 億円に増加（H26～30）。

🌾 個人賞 🌾

地域でリーダー的な
活躍をしている者等

上乗 秀雄

石川県
能登町

故郷の里山を再開発して子どもたちが自然体験や環境学習ができる場を創ろうと、自然体験村「ケロンの小さな村」を創設。自然体験等の子どもの来村者数は年間 4,000 人、大人も合わせると 5,000 人（H30）。

「ディスカバー農山漁村の宝」の概要

趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

対象となる取組

- ◆ 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ◆ 幅広い分野・地域との連携による農林水産業や農山漁村の再生
- ◆ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

有識者懇談会委員 (五十音順、敬称略)



あんまくだなもと
上智大学大学院教授
慶応義塾大学特任教授



今村 司
(株)読売巨人軍
代表取締役社長



織作 峰子
大阪芸術大学教授
写真家



田中 里沙
事業構想大学院大学学長
(株)宣伝会議取締役



永島 敏行
俳優
(有)青空市場代表取締役



林 良博
国立科学博物館館長



藤井 大介
(株)大田原ツーリズム
代表取締役社長
(株)ファーム・アンド・
ファーム・カンパニー
代表取締役社長



三國 清三
オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ



向笠 千恵子
フードジャーナリスト
食文化研究家
郷土料理伝承学校校長



横石 知二
(株)いろどり
代表取締役社長

ロゴマーク



農村をイメージした「稲穂」と漁村をイメージした「海・波」、
農山村をイメージした「山」をモチーフにしたデザイン。

【制作者：濱中 幸子 氏 (グラフィックデザイナー)】

DISCOVER

選定証授与式・交流会

「ディスカバー^{むら}農山漁村の宝」第6回選定関係者は、令和元年12月3日に総理大臣官邸において、選定証を受領し、内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等からの直接の激励を受けるとともに、関係者同士の交流を行いました。





有識者懇談会座長から選定証を授与



農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）との記念撮影



内閣総理大臣が出席する交流会で、グランプリ及び部門賞を発表。グランプリには内閣総理大臣から楯を授与。
内閣総理大臣をはじめ、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等が選定関係者を激励。

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定)

25 愛媛県 宇和島市

愛媛県立 宇和島水産高等学校
水産食品研究部
「フィッシュガール」

26 愛媛県 八幡浜市

農業生産法人 株式会社
ミヤモトオレンジガーデン

27 高知県 越知町

農事組合法人 ヒューマンライフ土佐

28 佐賀県 伊万里市

すみやま棚田守る会

29 長崎県 大村市

有限会社 シュシュ

30 宮崎県 五ヶ瀬町

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

31 鹿児島県 南さつま市

株式会社 南風ベジファーム

17 愛知県 西尾市

西尾南部ベイエリア協議会

18 愛知県 新城市

鞍掛山麓千枚田保存会

19 三重県 四日市市

ミナミ産業 株式会社

20 京都府 京田辺市

さんさん山城

21 大阪府 河南町

農事組合法人 かなん

22 島根県 大田市

《グランプリ》株式会社 魚の屋

23 広島県 北広島町

浄謙寺

24 山口県 萩市

株式会社 三見シーマザーズ

01 東京都 檜原村

高橋 亨

02 石川県 能登町

《個人賞》上乘 秀雄

03 岐阜県 恵那市

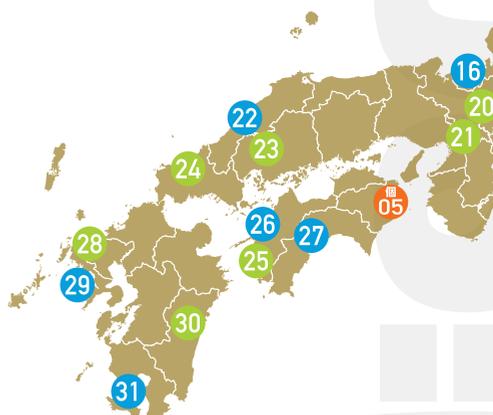
大島 光利

04 三重県 多気町

北川 静子

05 徳島県 阿南市

新居 希予



選定地区及び選定者一覧



※緑色：「コミュニティ部門」選定地区

青色：「ビジネス部門」選定地区

オレンジ色：「個人部門」選定者

- 13 新潟県 上越市
株式会社 岩の原葡萄園
- 14 石川県 白山市
石川県立翠星高等学校
食品科学研究会
- 15 石川県 津幡町
河北潟干拓土地改良区
- 16 福井県 小浜市
株式会社 若狭の恵

- 01 北海道 遠別町
準グランプリ コミュニティ部門
北海道立 遠別農業高等学校
- 02 北海道 津別町
株式会社 山上木工
- 03 北海道 弟子屈町
有限会社 渡辺体験牧場
- 04 宮城県 登米市
有限会社 伊豆沼農産
- 05 山形県 上山市
準グランプリ コミュニティ部門
上山市温泉クアオルト協議会
- 06 山形県 天童市
株式会社 やまがたさくらんぼファーム
- 07 山形県 河北町
河北町元泉地域農地・水・環境
保全組織運営委員会
- 08 茨城県 常陸大宮市
JA常陸 奥久慈枝物部会
- 09 群馬県 川場村
富士山集落活性化協議会
- 10 埼玉県 熊谷市
TATA GREEN 株式会社
- 11 東京都 渋谷区
東京NEO-FARMERS!
- 12 静岡県 島田市
準グランプリ ビジネス部門
杉本製茶 株式会社



北海道立 えんべつ 遠別農業高等学校



羊肉 加工実習の様子

コミュニティ部門

食育・教育

教育機関との連携

その他（地域との連携）



〒098-3541 北海道天塩郡
遠別町字北浜 74 番地

tel 01632-7-2551

fax 01632-7-2376

mail enbetsunougyou-z0@
hokkaido-c.ed.jp



羊肉 加工品各種

概要

- ◆ 高校生が、国産自給率の低いサフォーク種の羊の飼育・加工・販売までを一貫して実施。
- ◆ 地域農業者からの要望により、地域農業者や役場も参加する協議会を設立し、地域の課題に対して高校での実践結果を地域に還元する取組を開始。



羊（サフォーク種） 校内飼育の様子

成果

- ◆ ラム肉を使用した加工品は、マルシェでの販売やふるさと納税返礼品として取り扱われるほか、ショッピングサイトでも販売。
- ◆ R1年度には近隣地域で初となるASIAGAP（アジア版農業生産工程管理）を取得。



株式会社 山上木工

やまがみ



自社ブランドの椅子「ISU-WORKS (イスワークス)」

ビジネス部門

輸出

その他 (所得の向上)

その他 (地域の活性化)



〒092-0203 北海道網走郡
津別町字達美 147-6

tel 0152-76-4934

fax 0152-76-2540

mail info@yamagamimokko.
co.jp



東京の有名ホテル内のチャペルベンチ

概要

- ◆ 複雑で精度の高い加工を行う機械力と、きめ細やかな仕上げを行う職人技の融合により、高品質な木工品を安定的かつ効率的に生産し、国内外で販売。
- ◆ 廃校を活用したショールームを開設し、木工品の直売と木工教室を実施。



子供向け木工体験の様子

成果

- ◆ H24年に自社ブランドを立ち上げ、全国60店舗で販売するほか、仏などへ輸出。家具等木工品の売上は約2億円(H30)。
- ◆ 東京オリンピックパラリンピックのメダルケースの製造(約5千個)に携わる。

有限会社 わたなべ 渡辺体験牧場



体験ツアーでの一場面（摩周の大草原）

ビジネス部門

農泊

農林漁業、農村文化体験

6次産業化



〒088-3222 北海道川上郡弟子屈町字弟子屈原野 646 番地 4

tel 015-482-5184

fax 015-482-1360

mail wataiken@dream.ocn.ne.jp



酪農教育ファームの真剣なまなごしの修学旅行生

概要

- ◆ 家族で牧場を経営し、牛乳・酪農の普及・啓発を推進。
- ◆ ゲストハウスを建設し、酪農教育ファーム体験ツアーを実施するほか、加工品の開発・販売に取り組む。

成果

- ◆ 体験ツアーの参加者は、年間 2.5 万人から約 3 万人に増加したほか（H26～H30）、H27 年度に中国の雑誌とHPで取り上げられたことから、外国人来場者が急増。（H30 は全体の約 2 割の 6,000 人）
- ◆ 体験ツアーや加工品の売上等、牧場全体の売上は約 1.1 億円（H30）。



牧場の牛乳を利用した製品

有限会社 伊豆沼農産

いずぬま



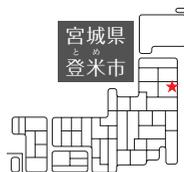
インバウンド受け入れの一場面

ビジネス部門

輸出

高齢者の活躍

その他（都市農村交流）

〒989-4601 宮城県登米市迫町
新田字前沼 149 番地の 7

tel 0220-28-2986

fax 0220-28-2987

mail info@izunuma.co.jp



地域の食文化を伝える冊子の発刊

概要

- ◆ 米と豚肉の自社食材を活用した加工施設やレストラン、直売所を開設し、創業時より6次産業化に取り組む。
- ◆ 若いUターン女性社員が取締役となり、地域の高齢者を牽引し、食や農について学ぶ体験プログラムを開発。



2004年から香港輸出開始

成果

- ◆ 直売所やレストランへの来店者は約 9.6 万人から約 15.2 万人に増加（H26～H30）し、売上は約 1.5 億円（H30）。
- ◆ 売上の増加等により、当初 5 名のパート雇用が H30 年度には 35 名まで増加。

上山市温泉 クアオルト協議会



里山や準高地等の森林を活用したウォーキング

コミュニティ部門

企業との連携

高齢者の活躍

その他（森林環境を健康寿命延伸に活用）



〒999-3145 山形県上山市河崎一丁目1-10

tel 023-672-1111

fax 023-672-1112

mail kaminoyama.kurort@gmail.com



企業社員等対象の「宿泊型新保健指導ツアー」



森や自然とのふれあい「森林世代間交流」

概要

- ◆ 自然休養林等を活用した気候性地形療法「クアオルト（ドイツ語で「健康保養地」の意味）健康ウォーキング」を専用ガイドを付けて年間 360 日間実施。
- ◆ 全国から社員等の健康ツアー（ヘルスツーリズム）を積極的に受け入れ。

成果

- ◆ 年間約 1.4 万人のクアオルトウォーキング参加者のうち、毎日ウォーキング参加者は約 5,200 人（H30）。
- ◆ ヘルスツーリズム宿泊者数は年間約 1,700 人（H30）。
- ◆ 行政や企業等の視察が、19 件から 34 件（H26～H30）に増加。

株式会社 やまがたさくらんぼファーム



朝摘みさくらんぼツアーの様子

ビジネス部門

農泊

農林漁業、農村文化体験

6次産業化

〒994-0103 山形県天童市
川原子 1303

tel 023-657-3211

fax 023-657-3213

mail y.yahagi19@ohsyo.co.jp



さくらんぼシーズンにスタッフと

概要

- ◆ 地域の温泉と連携し「朝摘みさくらんぼツアー」を商品化。また、地域協議会、旅行会社と連携し農作業体験ツアーを実施。
- ◆ 地域の加工業者やデザイナーと連携し、さくらんぼなどを使用した加工品を開発し、直売所とカフェを開設。



直営カフェの商品

成果

- ◆ 直営カフェの売上は、約 150 万円から約 1,500 万円へ増加。(H27 ~ H30)
- ◆ さくらんぼ狩り入園者数は年間約 2.3 万人 (H30)。
- ◆ 農作業体験ツアーにより、さくらんぼ収穫の労働力を確保するとともに、ツアー後に直接雇用の例も。

河北町元泉地域農地・水・環境 保全組織運営委員会



めだかの学校本校舎で親子田植体験

コミュニティ部門

農林漁業、農村文化体験

環境保全・景観保全

教育機関との連携

〒999-3531 山形県西村山郡
河北町字畑中 120

tel 023-773-4331

fax 023-773-4331

mail oku26@fc4.so-net.ne.jp



田んぼの子ども博士認定証伝達式

概要

- ◆ 町で唯一の在来種メダカを放流した田園環境学習専用田「めだかの学校」を開校。
- ◆ 農薬と化学肥料を慣行栽培量の5割以下に抑えた特別栽培米「べに花めだか米」を栽培。



農産物安心・安全地域ブランドシール発行

成果

- ◆ めだかの学校への来校者は、H30年度には元泉地域の総人口の2.4倍にもなる約1,000人（H30）。
- ◆ 特別栽培米「べに花めだか米」の栽培面積は、7.5haから地域の水田面積の35%となる24.8haまで拡大（H20～R1）。

地域を巻き込め！枝物での地域再生

ひ た ち

JA 常陸

お く く じ え だ も の ぶ か い

奥久慈枝物部会



耕作放棄地を解消しながら面積を拡大

コミュニティ部門

教育機関との連携

高齢者の活躍

学生・若者の活躍

〒319-2256 茨城県常陸大宮市
田子内町 3091-6

tel 0295-52-4510

fax 0295-53-4810

mail ja-hitachi-ohmiyaeno3@
ja-ibaraki.jp

地元高校生への練習花材提供・講師派遣

概要

- ◆ 耕作放棄地を解消し、地域の農業を再生させるため、定年帰農者（高齢者）を取り込み、農地での枝物の栽培に取り組む。
- ◆ 生け花の全国大会出場支援のため、地域の高校に枝物の提供や講師派遣を実施。



高校生花いけバトル大会説明会

成果

- ◆ 枝物の栽培面積が、32ha から 57.8ha に増加（H26～H30）したことに伴い、H30年度には約 1.2 億円の売上。これにより、定年帰農者（高齢者）の所得が向上。
- ◆ 花桃の出荷量は約 7.2 万スリーブから 11.4 万スリーブまで増加。（H26～H30）

ふ じ や ま

富士山集落 活性化協議会

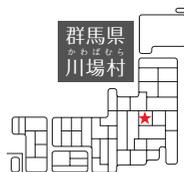


7000本の竹灯籠とおもてなし会場の古民家

コミュニティ部門

環境保全・景観保全

教育機関との連携

〒378-0101 群馬県利根郡
川場村谷地 1124

tel 0278-52-3061

fax 0278-52-3061

mail harugakita316@gmail.com



紅花染体験

概要

- ◆ 近隣大学等の教育機関と連携し、雪の棚田に竹灯籠を灯すイベント「冬×ふじやまプロジェクト」を開催。
- ◆ 紅花栽培による染物体験等の農業体験を実施するほか、棚田オーナー制度にも取り組む。



スタードーム作り

成果

- ◆ 集落内で、実習や研究を実施する教育機関が増え、交流が深まった結果、学生達と一緒にワークショップを開催するなど、新たな交流が生まれた。
- ◆ 竹灯籠イベントで800人が来訪（H30）したほか、棚田オーナーは16人から56人に増加（H29～H30）し、活動がテレビでも取り上げられた。

カッコイイを創造する農家

TATA GREEN 株式会社

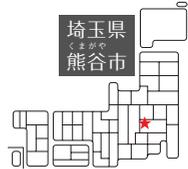


全員農業素人の会社スタッフ

ビジネス部門

食育・教育

6次産業化

〒360-0112 埼玉県熊谷市極春
1984-5

tel 048-538-7961

fax 048-538-7961

mail tatagreenfarm0818@
yahoo.co.jp

海外展開への挑戦 マレーシアサバ州政府

概要

- ◆ さつまいもの加工品の開発・製造・販売に取り組み、新規顧客開拓のため百貨店等のイベントにも積極的に参加。
- ◆ 若者が興味を持ってもらえるよう「カッコイイ農業」を目指し、SNS やイベント活動を通じて、魅力を発信。



催事での農業アピール

成果

- ◆ 店舗への来店者数は、H30 年度には 280 組 / 日となった他、さつまいも関連商品の売上が約 800 万円から約 7,400 万円へ増加 (H26 ~ H30)。
- ◆ Facebook 及び Instagram など SNS のフォロワー数が、500 人から 10,000 人に増加 (H26 ~ H30)。

東京^ネNEO^オ-FARMERS!^フ^ア^ー^マ^ー^ズ



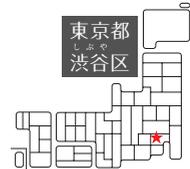
東京NEO-FARMERS!のマルシェ

コミュニティ部門

移住・定住

都市農業

学生・若者の活躍



〒151-0053 東京都渋谷区代々木
2-10-12 JA東京南新宿ビル4階
一般社団法人東京都農業会議内

tel 03-3370-7146

fax 03-3379-7627

mail matsuzawa@tokaigi.com



青梅市での水田保全活動（水路開通清掃）

概要

- ◆ 東京都内で新規就農した者等が、安心・安全で高品質の地元野菜を都市住民に販売。
- ◆ 都内や周辺地域で就農予定の者と情報交換を行い、就農に向けた助言や受け入れ先の調整など円滑に就農できる環境を整備。

成果

- ◆ 野菜の出荷等で連携する大手スーパーやレストランチェーンは3社から10社へと拡大し（H26～H30）、野菜の販路拡大や物流の構築など、安定かつ持続的な取組へ発展。
- ◆ 独立新規就農会員数は、19名から44名に増加（H26～H30）。会員間で発生する課題について意見交換を行う場を提供。



集まり（月例会）の様子



す ぎ も と せ い ち ゃ

杉本製茶 株式会社

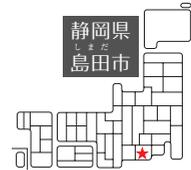


World Tea Expo 2017 ラスベガス出展の様子

ビジネス部門

輸出

その他
(輸出対応有機抹茶製造に
関する各種認証取得)

〒428-0004 静岡県島田市横岡
242-1

tel 0547-46-2554

fax 0547-45-3151

mail info@sugimotojapan.com



海外輸出向け抹茶製造の様子

概要

- ◆ 茶生産農家の所得向上及び後継者確保のため、国内の中小製茶企業に先駆け、輸出事業に着手。
- ◆ 海外展示会への出展や、輸出向けの施設整備を実施。

成果

- ◆ 現地法人設立後、海外の茶関連展示会へ年間10回以上出展し、販路開拓を行った結果、現在では22ヶ国へ輸出を行い、茶・抹茶輸出売上高は8,000万円から約5億円に増加(H26～H30)。
- ◆ H30年度には有機抹茶製造工場を新設し、抹茶の製造能力が100t/年から150t/年に増強。
- ◆ 地元高校生による欧米の茶流通研究の支援を行う。



地元高校生現地法人視察海外研修の様子

株式会社

い わ の は ら ぶ ど う え ん

岩の原葡萄園



小学生による善兵衛学習ぶどう栽培作業

ビジネス部門

教育機関との連携

農福連携

その他(新しい園芸産地づくり)



〒943-0412 新潟県上越市大字
北方1223番地

tel 025-528-4002

fax 025-528-3530

mail mail@iwanohara.sgn.ne.jp



水田から根圏制限栽培法ぶどう畑に転作

概要

- ◆ぶどう産地協議会を設立し、労働力不足の解消や低コスト生産のための規模拡大に取り組む。
- ◆H28年度より、ぶどうの栽培作業の分解・単純化を図り、障がい者雇用に取り組む。



農福連携ぶどうの幼木回りの除草作業

成果

- ◆ワインの売上は、3.9億円から約4.3億円に増加(H26～H30)した他、製造した赤ワインがG20大阪サミットで使用された。
- ◆地元醸造用ぶどう栽培面積の拡大に伴い、新たに2名の担い手を創出。
- ◆H30年度にはぶどう栽培作業での農福連携の延べ人数は54名まで増加。

石川県立翠星^{すいせい}高等学校 食品科学研究会



食品科学研究会のメンバー

コミュニティ部門

6次産業化

教育機関との連携

農福連携

〒924-0815 石川県白山市
三浦町 500-1

tel 076-275-1144

fax 076-274-0732

mail [suiseh@m1.ishikawa-c.
ed.jp](mailto:suiseh@m1.ishikawa-c.ed.jp)

廃棄果皮ゼロシステムの全国発信

概要

- ◆ 高校生が、搾汁後廃棄していた果皮を利用して加工・商品化する「廃棄果皮0システム」を構築。
- ◆ 全国展開を図るため「廃棄果皮0システム」のロゴマークを商標登録し、SNS等で積極的にPR。

成果

- ◆ 企業と連携し開発された加工品の販売数の増加に伴い、廃棄果皮消費量が59kgから324kgに増加（H26～H30）。
- ◆ 障がい者就労施設に加工品製造に係る業務を委託する等、障がい者就労支援にも寄与。
- ◆ SDGsの達成に貢献する施策の活動事例として発表（R1）。



廃棄果皮乾燥残渣で和紙の色づけ体験

干拓地に広がる赤と黄色の絨毯

か ほ く が た

河北潟干拓 土地改良区



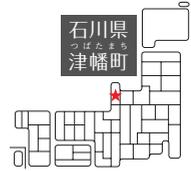
ひまわりの村内をトロッコに乗って回りながら PR

コミュニティ部門

環境保全・景観保全

食育・教育

若者・学生の活躍

〒 929-0328 石川県河北郡
津幡町字湖東 395

tel 076-288-4424

fax 076-288-7531

mail kawakami@k-kantaku.com



緑肥作物のクリムソンローバーを楽しむ

概要

- ◆ 行政と連携し、干拓地の豊かな自然を活かした「ひまわり村」を開村し、ライトアップやミニ LIVE など様々なイベントを通じて干拓地の理解醸成を図る。
- ◆ カフェを併設し、地元農家が栽培した果実や野菜等を使用した料理等を提供。



展望台からひまわり村を眺める様子

成果

- ◆ ひまわり村への入村者数は、2 万人から 2.9 万人に増加 (H26～H30)。
- ◆ 地元のテレビやラジオでの生中継や新聞など、多くのメディアに取り上げられ、地域の夏の風物詩として定着。

株式会社 若狭の恵

わ か さ め ぐ み



「ひまわり米」を含む特別栽培米の販売の様子

ビジネス部門

雇用

若者・学生の活躍

その他（スマート農業）



〒917-0223 福井県小浜市加茂
2-4-1

tel 0770-57-2020

fax 0770-57-2080

mail maeno@wakasa-megumi.
jp



地元小学校の農業体験の受入れの様子

概要

- ◆ 景観作物のひまわりを緑肥とした米の開発・直販に加え、自身の食材を提供するレストランを開設。
- ◆ 地域の雇用創出のため、営農サポーター制度を実施。地域の若者とベテランが協力する体制を構築。



年間8万人が訪れる「ひまわり畑」

成果

- ◆ 米の売上高は、約7,300万円から約1.1億円へ増加（H26～H30）。
- ◆ 社員はすべて40歳代以下（うち3名が高卒者）。正規雇用者数は3人から11人に拡大（H27～H30）。
- ◆ 営農サポーター制度による地域の高齢者等の雇用者数は、H30年度には延べ約1,500人。

それぞれの輝きから、大きな輝きへ

にしおな ぶ

西尾南部 ベイエリア協議会



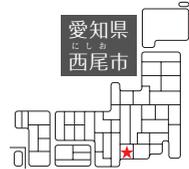
日本語版、英語版のパンフレット作成

ビジネス部門

農泊

農林漁業、農村文化体験

教育機関との連携

〒444-0424 愛知県西尾市
一色町小藪船江東 176 番地

tel 0563-72-9607

fax 0563-72-3502

mail sakushima@city.nishio.
lg.jp

高校生等の協力により新メニュー開発

概要

- ◆地域の大学と連携し、「うなぎの蒲焼き体験」などの体験プログラムを開発。また、地域の高校及び企業と連携し、うなぎを使用した新商品を開発。
- ◆日本語版と英語版のパンフレットやポスターの作成・配布や、SNS で動画を配信するなど、国内外へ積極的に PR を実施。



地元大学生の協力により体験プログラム開発

成果

- ◆体験プログラムやレストラン等の売上高は約 1.5 億円 (H30)。宿泊者数は 9,000 人 (H30)。
- ◆地元高校やカフェ等の協力により、うなぎドーナツ、うなぎ春巻き等の特産品を開発。

く ら か け さ ん ろ く

鞍掛山麓千枚田保存会



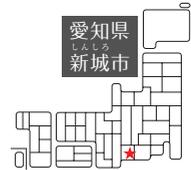
棚田の風景「四谷の千枚田」

コミュニティ部門

環境保全・景観保全

企業との連携

教育機関との連携



〒441-1942 愛知県新城市
四谷 59

tel 090-6586-4665

fax -

mail s-koyama@tees.jp



地元小学校の野外学習

概要

- ◆ 自然豊かな景観と生物多様性に富んだ「四谷の千枚田」は、H22年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の誘致に貢献。
- ◆ 地域の教育機関と連携した農業体験学習や、企業と連携した社員研修・ボランティア活動を積極的に受け入れ。



お田植え感謝の夕べの様子

成果

- ◆ 棚田の見学・訪問者は、1.5万人から2.5万人に増加(H26～H30)。
- ◆ COP10を機に、ベトナム、中国など海外から中山間地の米作りに関する農業視察が増加。

ミナミ産業 株式会社



海外採用事例（自家製豆腐作り）

ビジネス部門

食育・教育

輸出

企業との連携

〒 510-0025 三重県四日市市
東新町 3-18

tel 059-331-2158

fax 059-331-7324

mail info@minamisangyo.com



海外展示会 試食コーナー風景

概要

- ◆ 農研機構などと連携し、高機能性大豆「ななほまれ」の研究を行い、高付加価値大豆の普及を図る。
- ◆ 大豆製品の海外販路開拓事業に取り組み、海外 28 ヶ国へ輸出。また海外で食育イベント等も実施。

成果

- ◆ 国産大豆製品の輸出額は、約 3,600 万円から 5,100 万円に増加（H26～H30）した他、大豆栽培面積も 160ha（H30）まで拡大。
- ◆ 「おからの出ない大豆丸ごと豆腐技術」を開発し、当該技術を活用した新規開業支援に取り組み、65 店舗の新規開業に貢献。



にがり農法による大豆栽培風景

さんさん山城^{やましろ}



農業の様子（宇治茶の手摘み収穫）

コミュニティ部門

6次産業化

農福連携

都市農業



〒610-0332 京都府京田辺市
興戸小毛詰 18-1

tel 0774-39-7113

fax 0774-65-4102

mail shinmen@kyoto-chogen.
or.jp



さんさん山城コミュニティカフェ

概要

- ◆ 廃園予定の茶園を継承し、農福連携に取り組み、地域の特産品を栽培。また、特産品を使用した加工品も開発・販売。
- ◆ コミュニティカフェでは、障がい者が中心となりメニュー作り・接客・調理を行う。障がい者と交流しながらの手摘み体験も実施。



地元の大学生ボランティア

成果

- ◆ コミュニティカフェへの来店者数は、約5,000人から約8,300人に増加（H29～H30）。
- ◆ 近隣大学と連携した「軽トラ市」、観光協会と連携した「ノウフクマルシェ」の開催など、地域に根差した取組がSDGs国際会議で報告され、高い評価を獲得。

直売所から町や農業を元気に!!

農事組合法人 かなん



道の駅かなん及び直売所

コミュニティ部門

食育・教育

6次産業化

教育機関との連携

〒585-0034 大阪府南河内郡
河内町神山 523 番地の 1

tel 0721-90-3911

fax 0721-39-3912

mail mitinoeki.kanan@sunny.
ocn.ne.jp

河内町内小学校での食育出前教室

概要

- ◆ 学校給食センターや幼稚園、福祉施設などへの野菜や味噌の納入や、地域の小中学校を対象とした職業体験実習等も受け入れるなど、食農教育に積極的に取り組む。
- ◆ 地場産農産物を使用した加工品を開発するなど、6次産業化にも取り組み、イベントや道の駅で販売。



夏休み宿題応援イベント(収穫体験)

成果

- ◆ 地場農産物を使用した加工品の品数は年間で100種類以上にもなり、直売所での売上は約2.9億円(H30)。
- ◆ 使用する野菜全てを町内産でまかなう給食(お野菜まるごと河内町の日)を年4回実施。



株式会社 魚の屋



魚の屋 夢工場 平均年齢 75 歳

ビジネス部門

6次産業化

農福連携

高齢者の活躍



〒694-0031 島根県大田市
静間町 213-11

tel 0854-84-8021

fax 0854-84-8093

mail c.nakashima@uonoya.
co.jp



障がい者就労施設での作業の様子

概要

- ◆ 国内市場が1%しかない天然わかめの刈りとりを漁師に依頼し、それをもとに新商品開発と販売を実施。
- ◆ 天然わかめの加工処理について、加工場で行うほか、障がい者就労施設や一人暮らしの高齢者に作業の一部を委託。



天然わかめを使った商品

成果

- ◆ 天然わかめの商品売上は約 3,200 万円から約 3.5 億円に増加 (H26 ~ 30)。天然わかめを刈りとる漁師へ漁期中 (3 ~ 5 月末) は平均 43 万円 / 月の所得をもたらす。
- ◆ 天然わかめの加工処理で、13 か所 (75 名) の障がい者就労施設に作業を発注し、加工賃の単価増に貢献。離島 (隠岐の島) に8つの加工場があり地域振興にも貢献。

じょ う け ん じ
浄謙寺



イタリアン精進料理の本膳、二の膳、デザート

コミュニティ部門

農林漁業、農村文化体験

伝統の継承

雇用



〒731-2312 広島県山県郡
 北広島町奥原 161

tel 0826-35-0730

fax 050-5812-1423

mail shiunzan2@gmail.com



スタッフとインターン生の調理風景

概要

- ◆ 地域の魅力と仏教を伝えるため、地元産野菜を用いて作ることが可能なイタリアン精進料理の取組を実施。
- ◆ 料理の提供だけではなく、住職とともに読経や説法も合わせて実施。

成果

- ◆ イタリアン精進料理に参加する者は年間約2,000人（H26～H30）。
- ◆ 近年は料理に使ってほしいと珍しいイタリアン野菜を栽培する者が増えたり、来客増に伴い道中に野菜の無人市ができるなど地域にも影響をもたらしている。



イタリアン精進料理前の法話風景

株式会社 三見シーマザーズ



道の駅レストランの運営

コミュニティ部門

食育・教育

雇用

高齢者の活躍

〒759-3721 山口県萩市
三見 3333

tel 0838-27-0333

fax 0838-27-0206

mail -



地元の魚を加工した商品

概要

- ◆ 規格外の魚を収入に繋げるとともに、食事に困っている一人暮らしの高齢者へ食事を宅配しようと、弁当・惣菜の加工・販売の取組を実施。
- ◆ 道の駅のレストランを運営し、鮮度の高い地元産の魚料理を提供。
- ◆ 小中学生を対象に料理教室を実施し地元の魚のおいしさを伝える。



お弁当・惣菜の製造

成果

- ◆ 弁当は年間2万食、惣菜は6万食を販売。一人暮らしの高齢者へは年1,000食のお弁当を提供すると同時に市と連携して地域の見守りの役割も担う。
- ◆ レストランの来客者は1.7万人から3.5万人に増加（H22～H30）。

愛媛県立宇和島水産高等学校 水産食品研究部「フィッシュガール」



ハワイでのマグロ解体

コミュニティ部門

輸出

企業との連携

〒798-0068 愛媛県宇和島市
明倫町1丁目2番20号

tel 0895-22-6575

fax 0895-25-0791

mail uwjf-hot@school.esnet.
ed.jp

開発した製品を松山空港で販売

概要

- ◆ 愛媛県産魚のPRを行うため、産官学の連携の下で女子生徒が養殖クロマグロの解体ショーや加工品開発、魚食の実演販売を実施。
- ◆ 「ブリ大根缶詰」や「鯛めしの素缶詰」等の開発製品を国内外で販売。

成果

- ◆ マグロの解体ショーは、国内での年約30回(H30)にくわえ、海外でもハワイやシンガポールなどこれまで5ヶ所で開催。
- ◆ 製品開発した「ブリ大根缶詰」が、国内初となる高校施設で製造した加工食品の米国への輸出となった(H30)。



シンガポールおいしいJAPANでのマグロの解体

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン



自社栽培園地からの景色

ビジネス部門

6次産業化

教育機関との連携

その他(グローバル GAP 取得支援)



〒796-0201 愛媛県八幡浜市
川上町川名津甲 388 番地

tel 089-989-3605

fax 089-422-3904

mail yasukuni.miyamoto@
orange-garden-inc.jp



塩みかんおよび加工品ラインナップ

概要

- ◆「農業を事業として取り組む」との考えで、グローバル GAP や6次産業化に積極的に取り組みながら、みかんの農業法人を運営。
- ◆廃棄していた摘果みかんを調味料「塩みかん」に活用するほか、GAP 取得認証支援システムを開発し、他社の取得を支援。



川の石高校による量販店での GAP 販売を支援

成果

- ◆青果と加工品等の売上は 2,700 万円から 1.6 億円に増加 (H26 ~ H30)。栽培面積も 0.5ha から 4.5ha に拡大。(H26 ~ R1)
- ◆全ての園地でグローバル GAP を取得済。開発した GAP 認証取得支援システムを県内の農業高校等に提供し、グローバル GAP 取得に貢献。

農事組合法人 ヒューマンライフ土佐



山間部の休耕地に植栽した山椒の収穫

ビジネス部門

農林漁業、農村文化体験

環境保全・景観保全

高齢者の活躍



〒781-1311 高知県高岡郡
越知町今成 2293

tel 0889-26-3935

fax 0889-26-1265

mail hyu-mantosa@s8.dion.
ne.jp



きしつ
枳実乾燥後の選別加工作業

概要

- ◆ 山間部の傾斜地でも栽培可能で軽量なため高齢者でも作業ができる生薬を製薬会社との契約栽培で生産。
- ◆ 乾燥・調製等の加工作業は他の産地からも集荷して行い、製薬会社に納品。

成果

- ◆ 生薬の売上は年間 4.5 億円 (H30)。契約農家数は 500 戸、栽培面積は 130ha (H30) で、山椒、枳実、柴胡ましつ さいこを栽培。特に農業収入が無い冬季では柴胡は貴重な収入源。
- ◆ 高品質な生薬を生産するため、契約農家には肥料投与等の栽培管理シートを義務付けることによるトレサビリティシステムを導入。



基準 (GACP) にそった山椒の加工調製作業

すみやま棚田守る会



棚田保全活動で田植え体験

コミュニティ部門

環境保全・景観保全

食育・教育

企業との連携

〒848-0034 佐賀県伊万里市
二里町炭山

tel 0955-23-3776

fax 0955-23-3776

mail sumiyama@ihn.jp



市内のスーパー等でお酒の販売会を実施

概要

- ◆ 過疎化などにより荒廃した棚田を8年がかりで整備し、景観やオーナー制度による田植え及び収穫体験などによる交流者増加と純米酒の生産・販売などを実施。
- ◆ 大学と連携した棚田での農業体験をテーマとした研究や水力発電によるイルミネーションなど、多様な者と連携した取組を実施。



市や大学等と連携し、水力発電で棚田のイルミネーション

成果

- ◆ 棚田米から製造した純米吟醸酒が仏の日本酒品評会で金賞を受賞（H28・H29）。お酒は集客目的のため地元限定販売で350万円の売上（H30）。
- ◆ ケーブルTVと連携した動画発信、地元酒蔵と連携したお酒の製造、航空会社と連携した空港での販売など、様々な者との連携により関係者間の絆が深まり地域活性化にもつながっている。

有限会社 シュシュ



地元産の農産物を使用したジェラート

ビジネス部門

農林漁業、農村文化体験

食育・教育

6次産業化



〒856-0005 長崎県大村市
弥勒寺町 486 番地

tel 0957-55-5288

fax 0957-55-5323

mail info@chouchou.co.jp



「おおむら夢ファームシュシュ」外観

概要

- ◆ 農家 8 戸で始めた直売所が、レストランや食育体験施設等を含む「農業テーマパーク」に発展し一年中來客のある交流拠点になった。
- ◆ 地元農産物を生鮮品だけでなく、6次化による商品開発・販売を実施したり、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。

成果

- ◆ 6次化による売上高は 3.2 億円から 3.9 億円に増加 (H26 ~ 30)。食育及び農業体験者数はともに増加しており合計約 3 万人 (H30)。
- ◆ 常時雇用職員の 8 割が女性。従業員は季節雇用も含めて年間 100 名以上で、賃金の総額は約 1.5 億円。



インバウンド農泊受け入れの様子集合写真

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校



夏休み6泊7日子ども探検キャンプで沢登り

コミュニティ部門

食育・教育

6次産業化

その他(エコ+グリーンツーリズム)

〒882-1201 宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡 6452 番地乙

tel 0982-73-6366

fax 0982-73-6366

mail gns@gokase.org

村の住民がガイドするフットパスツアー
／宮の原

概要

- ◆ 地元の自然や資源などを最大限に活かして、農林業、エコツーリズム等を合わせた取組を行い活性化を図っている。
- ◆ 集落ボランティアセンターでは、世界農業遺産の高千穂郷、椎葉山地域の集落支援や熊本地震災害支援も実施。

成果

- ◆ 季節に応じた子どもを対象とした自然体験のイベントを年間26回開催し、延べ1,000人以上が参加(H30)。
- ◆ 集落支援ボランティアは、熊本地震発生年のH28では延べ1,700人を派遣。



伝統の焼畑で雑穀栽培／椎葉村

株式会社 南風ベジファーム

なんふう



人手のいる高菜の収穫作業の様子

ビジネス部門

雇用

6次産業化

農福連携



〒899-3404 鹿児島県南さつま市
金峰町高橋 3075-35

tel 0993-77-3932

fax 0993-77-3933

mail h-shin@po2.synapse.ne.jp



隣地の空き工場を改修して総菜加工に着手

概要

- ◆農場での野菜生産や施設での農産物加工に取り組み、障がい者を多く雇用。地域の農家の人手不足解消のため農作業を受委託。
- ◆高床式栽培施設の導入や地元スーパーと共同で惣菜工場を建設するなど農福連携や6次産業化に向けた取組を積極的に展開。

成果

- ◆加工品を含めた農業出荷額は約2,400万円から約1.8億円に増加（H26～H30）。農作業の受託により、農家の負担軽減や耕作放棄地防止に貢献。
- ◆開業後5年で障がい者40名を含む60名の雇用を創出。6次産業化を進めることで1年を通した仕事を創出。



作業軽減の目的でベビーリーフを高床式砂栽培で生産

た か は し と お る
高橋 亨



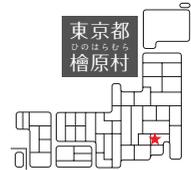
ムラサキ栽培作業プロジェクトチーム（本人：中央下）

個人部門

環境保全・景観保全

伝統の継承

教育機関との連携



一般社団法人 湯久保宿
〒190-0204 東京都西多摩郡
檜原村 4109

tel 042-598-0016

fax -

mail momohaus@yukubo.com



ムラサキ生育管理場・高橋園芸

概要

- ◆ 東京都檜原村で、染物の原料になる在来種で絶滅危惧種の「ムラサキ」の栽培、育成、活用を行う伝道者。
- ◆ 染め物体験により伝統的な知恵や技術を学ぶとともに、東京に現存する在来資源の価値を広くPR。



ふるさと檜原学習・ムラサキの栽培の様子

成果

- ◆ 染物の体験や研修だけではなく、種植えから収穫までを行う人材育成の研修も実施し、30人が参加。
- ◆ 地元小学校の総合学習においても、栽培から染体験を行うプロジェクトを実施。染物関係の大学や研究者から原料の安定供給を求められるようになった。



じょうのり ひでお
上乘 秀雄



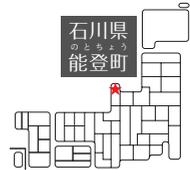
上乘秀雄&純子夫婦（本人：右）

個人部門

環境保全・景観保全

6次産業化

その他（絵本による里山づくりの啓発活動）



ケロンの小さな村
〒928-0326 石川県鳳珠郡能登町齊和た部 26

tel 0768-62-1471

携帯 090-4332-1380（上乘）

fax 0768-84-5012

mail keron.mura@gmail.com



夫婦二人で創り上げた今の「ケロンの小さな村」

概要

- ◆ 故郷の里山を再開発して子どもたちが自然体験や環境学習ができる場を創ろうと、自然体験村「ケロンの小さな村」を創設。
- ◆ ビオトープやツリーハウスを整備するなどして子ども達への自然体験を行うほか、自家生産の米を米粉にしてパンやピザを販売するなど6次化にも取り組み、大人の来客も取り込み地域に賑わいをもたらす。



保育所や小学校で作者自ら読み聞かせ会

成果

- ◆ 自然体験や環境学習での子どもの来村者数は年間4,000人、大人も合わせると5,000人（H30）で地域の活性化にも貢献。
- ◆ 自らの取組を絵本にして出版。小学校等での読み聞かせ会や原画展の参加者は年間2,000人（H30）。

お お し ま み つ と し
大島 光利

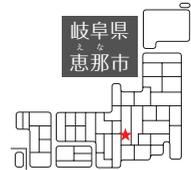


古民家リフォーム塾・第一号物件「田舎暮らし体験館結の炭家」（本人：右写真）

個人部門

環境保全・景観保全

移住・定住



特定非営利活動法人 奥矢作森林塾
〒509-7831 岐阜県恵那市串原 1149 番地 2
奥矢作レクリエーションセンター内

tel 0573-52-2808

fax 0573-52-2808

mail info@shinrinj.enat.jp



古民家リフォーム塾・床の張替え作業

概要

- ◆ 過疎化に伴い増加する空き家を改修して、移住・定住を促進する古民家リフォームの取り組みに従事。
- ◆ 移住者や林業技術者などとともに、継続的な森林整備や担い手づくりを目的とした里山づくりにも従事。



里山づくり活動・施業技術講習会の様子

成果

- ◆ H23 年以降、28 軒の空き家を改修し、70 人の移住者を迎え入れた（R1 年 7 月現在）。
- ◆ 里山づくりには年間 2 ～ 300 人程度の参加があり、H26 以降、57ha の森林整備を実施。

きたがわ しずこ
北川 静子



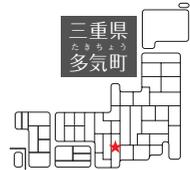
地元子どもたちからのつくしの買取は15年続く(本人:右写真)

個人部門

農泊

農林漁業・農村文化体験

食育・教育



有限会社 せいわの里 まめや
〒519-2211 三重県多気郡多気町
丹生 5643

tel 0598-49-4300

fax 0598-49-4300

mail mameya@ma.mctv.ne.jp



地域内外の児童が親子で学ぶ食育

概要

- ◆ 高齢化や後継者不足の中、農村で生まれる産物・豊かな文化・お年寄りの持つ技術を活かそうと地元女性と共に有限会社を設立。
- ◆ 農家レストラン、加工所などで地元農産物を使用した料理や商品を生産するほか、大豆などを使った料理体験などを通じ、農村の文化や技術を伝承。



見せ方、伝え方にもあえてひと手間ひと工夫

成果

- ◆ 農家レストランの来客者は年間9.5万人(H30)。農産物を納品する生産者は130人から165人に増加(H26～H30)。
- ◆ 地元の農産物買上額や、地元雇用の人件費等の地元への貢献金額は6,000万円(H30)であり、地域に貢献。

に い き よ
新居 希予



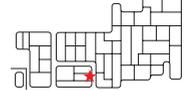
阿南市農林水産物消費拡大アドバイザーの委嘱（本人：左）

個人部門

伝統の継承

食育・教育

教育機関との連携



なかがわ 野菊の里
〒779-1116 徳島県阿南市
那賀川町小延 94-1

tel 0886-64-1311

fax 0884-42-1331

mail yayoi@nogikunosato.com



伝統米の栽培。長年続けている食育。
（ここから巣立った子どもたちも成人を迎えた）



食いしん坊図絵を作成し食育、メディアで活用

概要

- ◆ 結婚により12代続く米農家で栽培に従事し、農業の厳しさや農産物の将来性、地域の魅力などを伝えることの重要性を痛感し、わかりやすく消費者に伝える「表現する農業」の取組を実施。
- ◆ 伝統黒米「弥生紫」の唯一の生産農家として伝統を継承する傍ら、地元テレビやyoutubeでの配信、学校の農業体験などにより生産現場から情報発信。

成果

- ◆ 地元ケーブルTVで番組を監修。ラジオ局の番組の中でコーナーを担当（H30年1月～）。農業体験や食育には年間1,100人が参加（H30）。
- ◆ 米の栽培面積は当初の10倍に増加し、県内最大の無農薬米の栽培面積に。

DISCOVER MURA no TAKARA

ディスカバー 農山漁村の宝

お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 活性化推進班

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

tel 03-3502-5948 (直通) fax 03-3595-6340

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ

[URL] <http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html>



事例に関するお問い合わせや本事例集に関する御意見等がございましたら、
上記又はお近くの地方農政局（沖縄県につきましては沖縄総合事務局）まで御連絡ください。